

平成20年度日本水産学会東北支部大会ミニシンポジウムプログラム

日 程：平成20年11月7日（金）13:00-16:00

場 所：山形県鶴岡市湯野浜温泉

テ ー マ：温暖化と東北地方の海

企画責任者：石向修一（山形水試）・野呂恭成（青森水総研セ）・横内克巳（水研セ東北水研）

企画趣旨：日本水産学会東北支部は2005年度の北海道支部との合同大会に於いて、「温暖化傾向下の東北・北海道の海と漁業」と題するシンポジウムを開催した。そこでは東北地方太平洋岸と北海道日本海岸を中心に、広範にわたる分野から興味深い事例が紹介された。その後も、2007年のIPCC報告に見られるように、温暖化に関する問題はさらに重要度を増している。東北地方の海もまたその例外ではないが、対馬暖流が流れる日本海側、そして黒潮と親潮が混合する太平洋側とで、その様相は大きく異なる。日本海側では海水温の上昇が顕著であるのに対して、太平洋側では水温上昇よりも、逆に水温の低下が認められている。一方、両海域からは海藻や魚類の分布に関する特異な現象がしばしば報告されており、これらの現象と温暖化との関連についても精査が必要である。本シンポジウムでは、東北地方における温暖化の現象が日本海と太平洋側でどのように異なっているのか、また共通しているのか、身近な情報を取りまとめ、東北地方の海と生物、そして漁業の変化の実態を把握すると共に、将来予測への手がかりをつかみたい。

13:00-13:05 開会（事務局）

13:05-13:10 挨拶 主催者（支部長）・開催地（山形県水産試験場長）

13:10-13:15 趣旨説明 石向修一（山形水試）

13:15-13:35 東北地方の海洋環境の長期変動・・・横内克巳（水研セ東北水研）・加藤修（水研セ日水研）（予定）・鈴木亮（青森水総研セ）・山口正希（岩手水技セ）・白石一成（宮城水総セ）・上野山大輔（福島水試）・小日向寿夫（茨城水試）

13:35-13:55 山形地先での海洋環境の長期変動・・・・・・石向修一（山形水試）

13:55-14:15 青森県日本海沿岸の海洋環境と漁業生産の長期変動

・・・野呂恭成（青森水総研セ）・佐藤晋一（青森八戸水事）

14:15-14:35 宮城地先での海洋環境と漁業生産の長期変動

・・・児玉純一・永島宏（宮城水総セ）

14:35-14:50 休憩（15 分）

14:50-15:10 青森県沿岸のマコンブ群落の変遷と水温の関係

・・・桐原慎二（青森水総研セ増養殖研）

15:10-15:30 日本海北部海域に出現する南方性魚類をどのように考えるか

—海洋の温暖化？死滅回遊？偉大なる開拓者？—

・・・杉山秀樹（秋田水振セ）

15:30-16:15 総合討論

進行：石向修一（山形水試）・野呂恭成（青森水総研セ）

・横内克巳（水研セ東北水研）

16:15 閉会（事務局）